

国際教養こども学科概念

国際教養こども学科では、国際社会でこども学を活かすことができる人材形成を目指します。こども学の専門知識はもちろん、国際社会におけるビジネス環境を学び、実際に国際交流を行うことで、他国の文化、歴史、社会を理解し、多様な価値観やグローバルな視点を身に付けていきます。

年次ごとの特徴

「国際教養こども学科」では、経済成長が著しいアジアの国々と地域をはじめ、世界の子どもを取り巻くさまざまな問題を探究します。

1 学年 25 人と少人数制を採用しているため、基本からじっくりと学ぶことができます。

1 年次では、こども学や国際関係論、語学等の基礎知識を学び、各学問分野の視点を身につけます。

2 年次では、より具体的に世界の国々の政治、経済、社会、文化などを多層的に学びます。また、実際に海外で行われる必修科目『国際こども学研修』を通じて、自ら見聞を広め、『日本における世界・世界における日本』を考えます。

3・4 年次では、経済学・経営学、国際社会・文化論、語学等のゼミに分かれ、ビジネスや各国情勢、国際貢献など、自らの専門性をさらに高め、卒業後の活躍に備えます。

必修の海外研修

海外の企業、教育施設を見学し、その国の文化、歴史、社会を実践的に学びます。この異文化体験は国際的な視野に立って、世界の中の日本、そして自分という人間を考える貴重な学習機会となります。

費用は学費に含まれているため、2 年生は全員参加します。

海外協定校

中国の上海師範大学、南京曉莊学院及びタイのシーパトゥム大学と交流協定を締結しています。

その他の海外研修科目

「短期語学留学Ⅰ」「短期語学留学Ⅱ」及び「国際交流活動（含・短期留学）」では、履修する学生が語学や文化の短期留学先を選び、留学、フィールドワーク、そして本学での講義によって単位を取得します。

費用は学生負担です。

代表的な科目

代表的な科目を2つご紹介します。『こども製品開発とビジネス』の目的は「もし、あなたがこども製品の開発者になったら、まず最初に何をすべきか？」について考えることにあります。過去に成功した製品、失敗した製品などを見ながら、こども製品のビジネスについて考えていきます。また、工場見学なども行い、現場で苦勞している方のお話も伺います。

次は『世界の中の日本』という科目です。グローバル化する現在、世界各国、とりわけ身近にあるアジア諸国と地域の事情を知ることは不可欠です。それと同時に、世界の人々が日本及び日本人をどのように見ているのか、あるいは見ているのか、世界の中に置ける日本の位置を考え、世界諸国の学習と理解につなげ、これからの日本のあり方を考察する科目です。

この2科目以外に、『国際こども学』、『世界の政治、経済と宗教』、『国際社会概論』、『国際協力とボラン

ティア』、『国際平和論』、『世界のこども産業』、『日本企業と国際社会』、『少子高齢化と国際社会』、『世界の食生活』、『世界のこどもの遊び』などもあります。

語学

英語、中国語、韓国語、日本語（留学生対象）のカリキュラムが充実し、下記のように各種語学検定試験取得の支援も強化しています。

<p>オーラルコミュニケーション英語Ⅰ～Ⅳ 基礎専門英語Ⅰ～Ⅳ 英書購読A～B 上級英語</p>	<p>TOEIC-IP オーラルコミュニケーションテスト会場認定校。 英語を必要とする就職。</p>
<p>初級中国語Ⅰ・Ⅱ 中級中国語Ⅰ・Ⅱ 上級中国語Ⅰ・Ⅱ</p>	<p>入門から中国語検定、HSK受験まで幅広く対応。</p>
<p>初級韓国語Ⅰ・Ⅱ 中級韓国語Ⅰ・Ⅱ 上級韓国語Ⅰ・Ⅱ</p>	<p>入門から韓国語検定受験まで丁寧に対応。</p>
<p>日本語Ⅰab～Ⅳab 日本概論 日本文化論 異文化コミュニケーション論 日本研究入門（留学生のみ） 日本語学入門（留学生のみ） 日本芸術入門（留学生のみ） 日本のことばと文学（留学生のみ） 日本語学（留学生のみ） 日本芸術（留学生のみ） 商業作文Ⅰ・Ⅱ（留学生のみ） プレゼンテーションⅠ・Ⅱ（留学生のみ） 世界の中の日本（留学生のみ）</p>	<p>留学生対象。日本語能力試験N1合格を目標。</p>

取得できる資格

他学科受講により取得

1. 小学校教諭1種免許状
2. 社会福祉主事任用資格
3. 児童指導員任用資格